

学校教育目標	「自分がすき、友だちがすき、明日にはばたく上郷の子」					
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学ぶ楽しさと創り出す喜びを通して、自ら学び、考え判断できる子を育てます。(知) ○ 礼儀やきまりを重んじ、相手を思いやる心をもって行動できる子を育てます。(徳) ○ 自他の生命を尊重し、健やかな身体をつくることのできる子を育てます。(体) ○ 自分の生まれ育った地域を大切に、地域に愛着がもてる子を育てます。(公) ○ 日本の伝統や文化を大切に、多くの人とのコミュニケーションを通して、社会の変化に関心もてる子を育てます。(開) 					
学校概要	創立 15 周年	学校長	海津善宜	副校長	大漁博子	3 学期制
	児童生徒数: 493 人	主な関係校: 上郷中学校・桂台中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <協働して課題解決する力>	上郷中学校 上郷小学校 庄戸小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく健康的で、礼儀正しさや他を思いやる心を持つ子ども ・地域の中でいろいろなことを積極的に学ぶ姿勢を持つ子ども <p>①児童が中学校を視野に入れて、一緒に活動することを意識した取り組みを進める。②「あいさつ」をコミュニケーションのツールとして、地域でも積極的にあいさつできる子どもを育成する。③職業体験などを利用して、中学生と小学生がコミュニケーションをとる場面を設け、身近な関係づくりをする。④小中の職員が様々な活動を通じてつながり、それぞれの発達段階を理解することで、個に応じた適切な関わりを持つ。</p>

中期取組目標	<p>○学校教育目標実現に向けて、「チーム上郷」として、全職員で活力と魅力にあふれた学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりが充実した学校生活を送ることができるよう、教育課程の運営・改善に努めます。 ・人権尊重の精神に基づいて誰もが安心できる居場所を提供し、児童に寄り添い、課題に的確に対応する教職員の育成に努めます。 ・小中の連携に努め、互いの立場を十分に理解して、9年間の教育活動を推進します。 ・挨拶を大切に、物事の善悪を正しく判断する心を育てます。 ・地域の活動に積極的に参加し、地域とのつながりを強めていくとともに、地域社会に貢献できる力を育てます。 ・すべての教職員が相互に啓発・連携する活気あふれる教職員集団を目指します。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	<ul style="list-style-type: none"> ①学年研で十分な教材研究をし、指導方法や板書計画などを共有し魅力的な授業を提供する。 ②日々の授業の中で個々の学習を十分に見取り、個に応じた指導や支援を心掛ける。 ③朝自習の時間を有効に利用するために充実した課題の提供をし、即時の評価をする。
担当 学習指導部	
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> ①道徳の授業を充実させ、それぞれの観点から豊かな心の育成に努める。学年便りで毎月の学習内容を保護者に伝えて、家庭との連携を強める。 ②自己肯定感を高めるために、互いによいところを見つけ、賞賛できる集団を作る。 ③「ありがとう」が素直に言える環境作りに努める。
担当 人権担当	
健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> ①体育集会の活動を充実させて、目標達成を意識した取り組みを進める。苦手意識を持たせないような目標設定や、協力して取り組むことの意義を理解させた活動とする。 ②自ら望ましい生活習慣作りができるために、食育や保健の学習など児童が考えて生活できるための学習を進める。
担当 体育部	
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ①個々の児童の状況を共有し、必要な手立てを講じることができるとともに特別支援部会を機能させる。適宜、ケース会議を開き、支援するための対策を講じる。 ②療育センターや区役所の連携を進め、専門性の高い支援が整うように努める。 ③担任の困り感を共有し、十分な役割分担をする。
担当 特別支援教育部	
児童生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ①問題の早期発見に努め情報共有することで、より適切で迅速な指導や支援をする。 ②児童の家庭環境をできるだけ理解し、保護者に寄り添った指導や支援をすることに努める。 ③警察など各機関と密な連携をとり、必要に応じた対応をする。
担当 児童指導部	
幼保小連携	<ul style="list-style-type: none"> ①年間計画に則り、十分な連携をして交流を図る。 ②園児が小学校に興味と期待を持つことのできるための主体的な取り組みとする。 ③児童支援専任が中心となった、先の見通しのある活動にすることで、スムーズなスタートカリキュラムにつなげる。
担当 幼保小担当	
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ①道徳の授業を充実させ、それぞれの観点から豊かな心の育成に努める。学年便りで毎月の学習内容を保護者に伝えて、家庭との連携を強める。 ②自己肯定感を高めるために、互いによいところを見つけ、賞賛できる集団を作る。 ③「ありがとう」が素直に言える環境作りに努める。
担当 道徳部	
いじめへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ①いじめの定義を全職員が周知し、見逃すことなく初期段階で対応する。 ②適宜、教育相談に取り組み、児童の変化や不安を把握できる体制を作る。 ③情報をすべての職員が共有し、常にチームとしていじめを許さない体制を作る。 ④児童が相談しやすい体制づくりに努める。
担当 児童指導部	
人材育成・組織運営(働き方改革)	<ul style="list-style-type: none"> ①メンター会議を定期的かつ計画的に行い、メンターとメンチーの関わりを深めるとともに、充実した研修とするための時間確保に努める。 ②主幹教諭の学校経営への参画を率先し、知恵を合わせた特色ある学校づくりを進める。 ③副校長の学校経営力を高めるために、校長を意識した経営への参画を実行する。 ④留守電、グループウェア、電子申請システム等を活用し、仕事の効率化を図り、働き方改革につなげる。
担当 教務部	